

山口大學 2 月份留學報告書

肆年壹班 林 建佑

二月的山口大學處於後期期中考的階段，就算是留學生的我也不例外地在學校的學生食堂努力的打課堂心得。

裡面我最喜歡的課是一堂叫做子ども理解演習的課!

這是我這堂課的心得。

自分にとってこの授業は自分が受けている授業の中に一番面白い授業でした。

この授業を受けたきっかけは自分は日本語学習者なので将来も教職に就く可能性を考えて選びました。

今まで友達や他の国の日本語学習者にも日本語を教えているけど、教える時はあんまり相手の状態やどれだけ分かるか考えませんでした。

子ども理解演習の授業で最も重要なのは教わる側の目線や考え方を一緒にすることだと私は思います。教わる側の考え方を考えないと色々な事を見逃すことがあるからです。

次は集中させることです、自分は高校の時から日本語を学び

始めたので、周りの学生が授業を集中しない人がたくさんあります。自分にとってそういう人たちを集中させることも教師の役目だと私は思っています。ただいたすら教えではなくて、面白く、聞きやすい授業を作らないとただ教えるのは意味がないと思います。

それからは子どもとの知恵比べです。

これは日本に来て一番実感したことです。日本語の授業に先生に質問して、先生が答え切れない事があるからです。

やはり、子どもとの知恵比べに負けることは先生にたいする信頼を傷つく事もあるに違いない。

以上挙げた例は自分にとって一番心に響かれた事もあり今後の課題でもあります。これらのことを克服、身につけて行きたいとおもいます。

Thursday, August 31, 2017